

2022

6月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



Choshi Shinkin Bank



1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	1	26	1
今後3か月程度の見通し	4	21	3

【漁業】

銚子港の令和4年5月の総水揚げ数量は40,896トンで、前月比+426トン、前年同月比▲3,994トンとなった。総水揚げ金額は3.084百万円で、前月比+214百万円、前年同月比+546百万円となった。

【農業】

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。

キュウリ(等級:秀) 1本当たり 高値 25円(前月比▲5円)安値 5円(前月比▲5円)

トマト (LMサイズ)4kg当たり 高値1,500円(前月比±0円)安値300円(前月比±0円)

トマトの価格は前月と同値であるが、キュウリについては需要が低調なことに加え、市場流通過多であり、依然として相場は低迷している。

【商業】

山武市の観光農園で余ったイチゴを使用し、フードロス削減に貢献するフルーツビール「さんむRED」が、同市の飲食店などで販売されている。イチゴの甘酸っぱい味わいやホップの香りが楽しめる。地域課題の解決と循環型社会の形成を事業目的とするアサヒグループジャパン傘下のアサヒユウアスが発売元で、同市や千葉大と連携して開発した。

「さんむRED」はコロナ禍の影響で観光客が減った同市内の農園で残ったイチゴを原材料に使用した。冷凍させてシャーベット状にしたイチゴを麦汁に加えて発酵、熟成させ、フルーツビールに仕上げた。


同商品は、同市の観光農園「有野実ファーム」に併設するキャンプ場や、道の駅「オライはすぬま」のレストランなどで楽しめる。アサヒグループが東京都や大阪市、名古屋市などで展開する飲食店9店舗でも販売している。

【観光業】

成田市の成田山総門前広場で5月28日・29日の2日間、伝統芸能に親しむイベント「成田伝統芸能まつり」の春の陣が初開催された。成田屋の屋号を持つ歌舞伎の名門・市川宗家と成田山新勝寺の深い縁を地域振興につなげようと、歌舞伎をテーマに構成。市内で伝承されてきた伊能歌舞伎の舞台や歌舞伎俳優のワークショップがあり、来場者に歌舞伎の魅力を伝えた。

伊能歌舞伎は同市伊能地区に300年以上伝わる農村歌舞伎で、市民らでつくる保存会のメンバーが演じた。女形の歌舞伎俳優、中村児太郎さんも登場し、役作りの裏側を紹介。市川海老蔵さんの弟子で立役の新八さんと福五郎さんがワークショップを担当し、細かく解説をしながら木刀を使った立ち回りを見せ、会場を沸かせた。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和4年5月の総水揚げ数量は40,896トンで、前月比+426トン、前年同月比▲3,994トンとなった。総水揚げ金額は3,084百万円で、前月比+214百万円、前年同月比+546百万円となった。

勝浦港の令和4年5月の総水揚げ数量は6,826トンで、前月比+6,121トン、前年同月比+2,247トンとなった。総水揚げ金額は2,569百万円で、前月比+2,130百万円、前年同月比+1,312百万円となった。

波崎の巻き網船団は、近海でのイワシ中心の操業であった。稼働日数は10日で前年と同数となった。前年同月対比で水揚げ数量は増加するも、単価安のため水揚げ金額は若干の減少となった。魚体も小さく歩留まりが悪いため、価格は安値で推移している。

千葉の勝浦港で、5月6日に今シーズン初となる1日200トンを超えて水揚げがまとまった。年明けから4月までは南方カツオ漁の不振から前年比95%減と記録的な不振にあえいでいたが、ここにきて好転した。今春の生鮮カツオは九州方面からの漁が活発であった一方、勝浦は燃油高騰による漁船の探索能力の低下や「小さな群れはみえても餌を食わない」状況でまとまった水揚げが続かなかった。しかし、5月3日以降はほぼカツオ一色の水揚げとなり、5月に入ってから釣果は5月1日から6日までの6日間で600トンに迫るなど、盛漁期入りを印象付けている。

銚子魚市場水揚げ高

銚子市漁業協同組合調べ

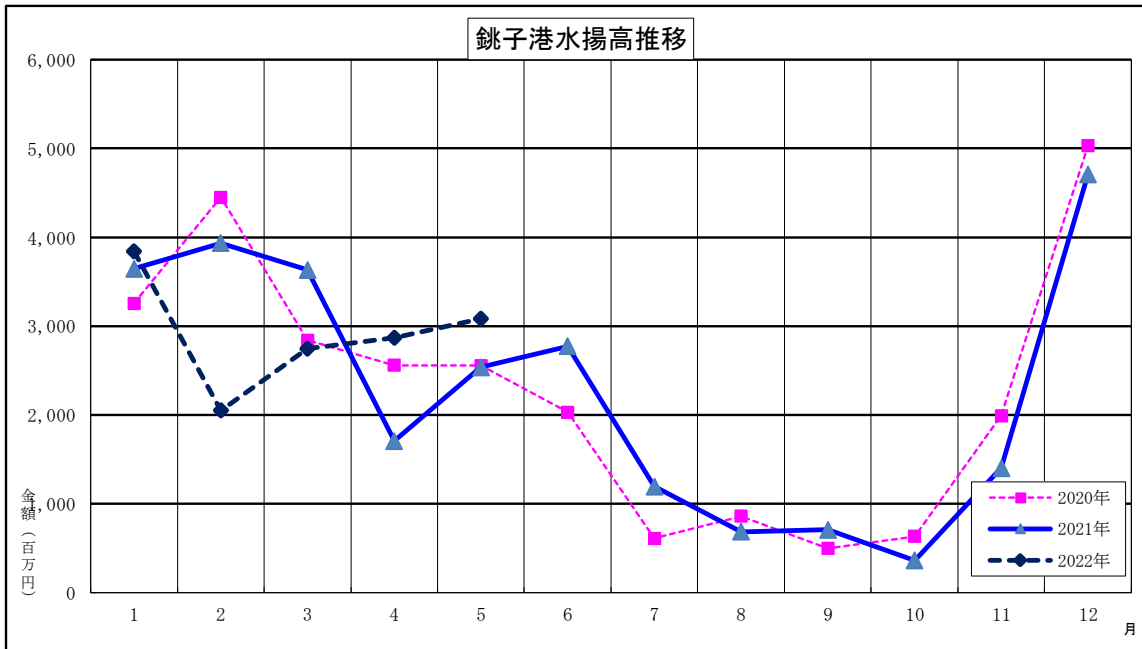
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		2022年5月	前年同月	前年同月比	2022年5月	前年同月	前年同月比
鰯		37,485	42,423	▲ 4,938	1,574,989	1,813,951	▲ 238,962
鯖		7	0	7	405	0	405
鰹		19	43	▲ 24	2,699	5,832	▲ 3,133
鰹・鯖		3,109	1,850	1,259	1,293,887	473,032	820,855
(内鰹一本釣)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		170	149	21	94,642	90,330	4,312
その他		106	425	▲ 319	116,908	154,339	▲ 37,431
合計		40,896	44,890	▲ 3,994	3,083,530	2,537,484	546,046

前月比	数量	101.05%
	金額	107.45%
前年同月比	数量	91.10%
	金額	121.52%

水揚げ日数



	2022年5月	2022年4月	2021年5月
鰯	11日	14日	13日
鯖	2日	4日	0日
鰹	1日	1日	4日
鰹・鯖	20日	18日	15日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	19日	18日	18日
その他	22日	23日	23日



■ 農 業

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ（等級：秀） 1本当たり 高値 25円（前月比▲5円）安値 5円（前月比▲5円）
 トマト（LMサイズ）4kg当たり 高値1,500円（前月比±0円）安値300円（前月比±0円）
 トマトの価格は前月と同値であるが、キュウリについては需要が低調なことに加え、市場流通過多であり、依然として相場は低迷している。

横芝光町特産のひかりねぎの相場は1箱（5.5kg）上 3,083円、下 1,894円で取引された。流通量が少なく、価格は高値傾向に推移。

銚子地区のキャベツ・青首大根の価格相場は、以下の通り。
 キャベツ 買値700円、売値1,000円
 青首大根 買値900円、売値1,200円
 キャベツは前年同月と比較して高値で推移。要因としては他県のキャベツ出荷状況が不作であり、千葉県内及び銚子市内のキャベツの需要が高まっているため。大根の価格は例年通りに推移。トウモロコシに関しては、7月上旬～中旬にかけて出荷予定。

■ 商 業

山武市の観光農園で余ったイチゴを使用し、フードロス削減に貢献するフルーツビール「さんむRED」が、同市の飲食店などで販売されている。イチゴの甘酸っぱい味わいやホップの香りが楽しめる。地域課題の解決と循環型社会の形成を事業目的とするアサヒグループジャパン傘下のアサヒユウアスが発売元で、同市や千葉大と連携して開発した。

「さんむRED」はコロナ禍の影響で観光客が減った同市内の農園で残ったイチゴを原材料に使用した。冷凍させてシャーベット状にしたイチゴを麦汁に加えて発酵、熟成させ、フルーツビールに仕上げた。

同商品は、同市の観光農園「有野実ファーム」に併設するキャンプ場や、道の駅「オライはすぬま」のレストランなどで楽しめる。アサヒグループが東京都や大阪市、名古屋市などで展開する飲食店9店舗でも販売している。

5月初旬、富里市で初夏の訪れを感じさせる特産品のスイカの出荷が始まった。6月に迎える最盛期を前にJA富里市西瓜部会は、5月6日にスイカの形や食味を確認する査定会を開いた。春に曇天が続いて成育に時間がかかったが、甘くてみずみずしい立派なスイカに仕上がった。

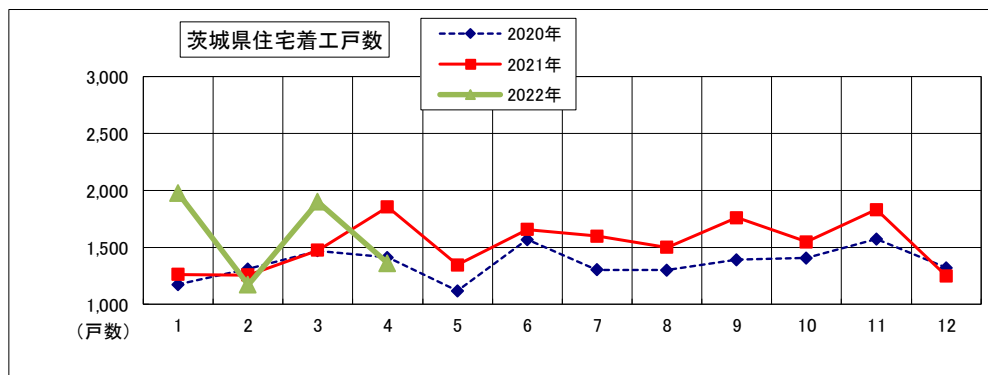
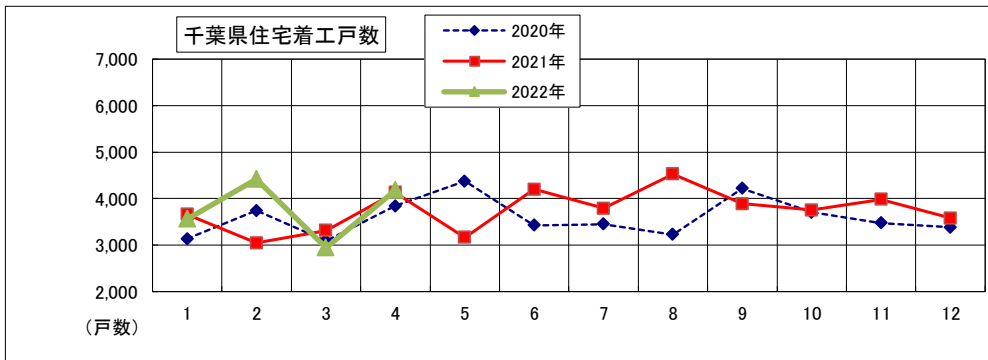
市内には約170人のスイカ生産者があり、「春のだんらん」や「味きらら」といった5品種を栽培している。出荷は5月から徐々に始まり、6月中旬にピークを迎え、7月中旬まで続く。秋作スイカも合わせると、今年は約90万玉（2玉入り45万ケース）の出荷を目指している。

■ 建設業

令和4年4月の住宅着工戸数は、千葉県で4,181戸と前年同月比101.1%(+47戸)、茨城県では1,360戸で前年同月比73.4%(▲494戸)となった。
前月(令和4年3月)比では、千葉県で+1,237戸、茨城県では▲540戸となった。

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2022年4月	前月戸数	増減
千葉県	4,181	2,944	1,237
茨城県	1,360	1,900	▲540



国土交通省統計情報より

■ 観光業

成田市の成田山総門前広場で5月28日・29日の2日間、伝統芸能に親しむイベント「成田伝統芸能まつり」の春の陣が初開催された。成田屋の屋号を持つ歌舞伎の名門・市川宗家と成田山新勝寺の深い縁を地域振興につなげようと、歌舞伎をテーマに構成。市内で伝承されてきた伊能歌舞伎の舞台や歌舞伎俳優のワークショップがあり、来場者に歌舞伎の魅力を伝えた。

伊能歌舞伎は同市伊能地区に300年以上伝わる農村歌舞伎で、市民らでつくる保存会のメンバーが演じた。女形の歌舞伎俳優、中村児太郎さんも登場し、役作りの裏側を紹介。市川海老蔵さんの弟子で立役の新八さんと福五郎さんがワークショップを担当し、細かく解説をしながら木刀を使った立ち回りを見せ、会場を沸かせた。

香取市の水郷佐原あやめパークで、5月28日に同市の恒例イベント「あやめ祭り」が開幕した。来園者は、紫やピンク色など涼しげに咲き誇るハナショウブを眺め、初夏の訪れを楽しんだ。同イベントは6月19日まで開催。

同パークによると、8ヘクタールの園内には江戸、肥後、伊勢系など約400種150万本のハナショウブが品種ごとに植えられている。今年は例年より開花が遅く、6月上旬に見頃を迎えたという。今年は茨城県潮来市のあやめ園と初めて連携。無料のシャトルバスを運行するなどして、連携して水郷地域の観光を盛り上げた。

■ 不動産業

千葉市内を始め、県内西部地区の土地価格が高騰している。加えて千葉市内の物件については商品数も少なくなっているため、業者間の競争が激しくなっている。販売状況については、販売までのサイトは比較的短期であり順調に推移している。

茂原市では、コロナ禍で引き続き東京より1時間程度で広い中古物件の相談は続いている。一宮町付近の引合いも続いているが物件が少なく、周辺の長生村やいすみ市近辺まで探しているが、既に業者に買い占められている状態。ただし、ウクライナ情勢により消費意識が減退した様子。

■ 養豚業・畜産業

令和4年5月の東京市場での豚枝肉(上)卸売価格相場は638円/kgとなり、前月比+147円/kg、前年同月比で+132円/kgとなった。

鶏卵(Mサイズ)卸売価格は219円/kgとなり、前月比+8円/kg、前年同月比で▲39円/kgとなった。

独) 農畜産業振興機構 / J A全農たまご(株) 統計情報より

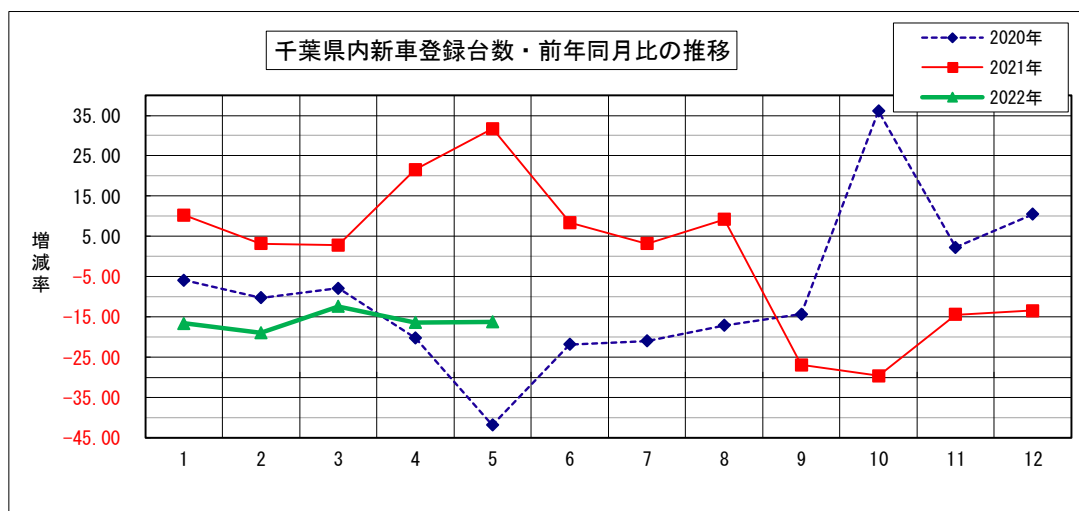
■ 自動車ディーラー

令和4年5月における千葉県内の登録新車販売台数(軽自動車除く)は前年同月比16.3%減の7,324台(前年同月8,784台)と、9カ月連続で前年実績を下回った。

占拠率は1位がトヨタ(47.9%)、2位はホンダ(12.5%)、3位は日産(8.8%)となった。

千葉県内新車登録台数状況(軽自動車を除く)

		2022年5月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	3,578	4,144	86.34%	4,485	79.78%
	小型	2,510	2,682	93.59%	2,970	84.51%
	小計	6,088	6,826	89.19%	7,455	81.66%
貨物	普通	297	369	80.49%	418	71.05%
	小型	711	638	111.44%	651	109.22%
	小計	1,008	1,007	100.10%	1,069	94.29%
特殊等	特殊	226	222	101.80%	209	108.13%
	バス	2	14	14.29%	15	13.33%
	小計	228	236	96.61%	224	101.79%
総合計		7,324	8,069	90.77%	8,748	83.72%



一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2022年4月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.81	0.87	▲ 0.06	0.78	0.03
茂原公共職業安定所管内	0.82	0.89	▲ 0.07	0.92	▲ 0.10
いすみ公共職業安定所管内	0.96	0.97	▲ 0.01	0.85	0.11
成田公共職業安定所管内	0.74	0.83	▲ 0.09	0.66	0.08
佐原公共職業安定所管内	0.91	0.88	0.03	0.66	0.25
千葉県	0.87	0.94	▲ 0.07	0.79	0.08

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和4年5月度】

2022年(令和4年)5月度の企業倒産件数は14件、前月比3件増(27.2%増)、前年同月比で6件増(75.0%増)となり、平成以降の5月単月では1989年(平成1年)と並んで4番目に少ない件数となった。

産業別では『サービス業他』が7件(構成比50.0%)で最多、次いで『建設業』が3件(構成比各21.4%)となった。資本金別では『300万円以上(1000万円未満)』が7件(構成比50.0%)、『300万円未満』が4件(構成比28.6%)となった。

従業員数別では『5名未満』が12件(構成比85.7%)で最多となり、これまで同様、小規模事業者の倒産が目立った。

原因別では『業績不振』が11件(構成比78.6%)で最多となった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて倒産した「新型コロナウイルス関連倒産」については3件(弁護士一任状態の経営破綻1件、負債総額1000万円以下の小口倒産1件を含めると計5件)発生した。

倒産形態別では『破産』が13件(構成比92.9%)となり、再生型の法的手続きは発生しなかった。

行動制限が緩和されて以降も新規感染者数が急増することなく、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークを迎えることとなった。さらに、政府は6月以降、海外観光客の受け入れ再開を正式表明したほか、今年1月から始まった「事業復活支援金」についても5月末で受付を締め切る(その後6月17日まで受付延長)など、5月はコロナ禍前に回帰する動きが強まり、経済活動の正常化に舵を切り始めた。

しかし、需給バランスの崩れから生じた半導体不足については依然として解消の見通しが立たず、また、部材・資材等の調達難、原材料価格・エネルギーコスト等の上昇についても、ロシアとウクライナの武力衝突を機に深刻度が増している。加えて、急激な円安が価格上昇に拍車をかけており、業界の川上に位置する大手企業では一連の価格上昇を追い風に過去最高益を計上するケースもみられるが、裾野の広い川下においては価格転嫁が進まず、苦戦を強いられている。

今後は経済産業省が中心となって策定した「中小企業活性化パッケージ」をベースに、事業者ごとのフェーズ(収益力改善フェーズ、事業再生フェーズ、再チャレンジフェーズ)に合わせた支援を展開していくこととなるが、コロナ禍の長期化で体力を消耗し、過剰債務を抱える中小企業において、収益力の改善は容易ではない。また、「中小企業活性化パッケージ」の策定段階ではロシアとウクライナの武力衝突は想定外の事態であり、価格高騰、調達難、円安などの影響が「収益力改善フェーズ」から「事業再生フェーズ」もしくは「再チャレンジフェーズ」への移行を促すことが懸念される。特に価格高騰に関しては企業努力で吸収できる範疇を超えつつあり、川下にまで価格転嫁が進んだ場合、消費減退という新たなリスクも想定される。

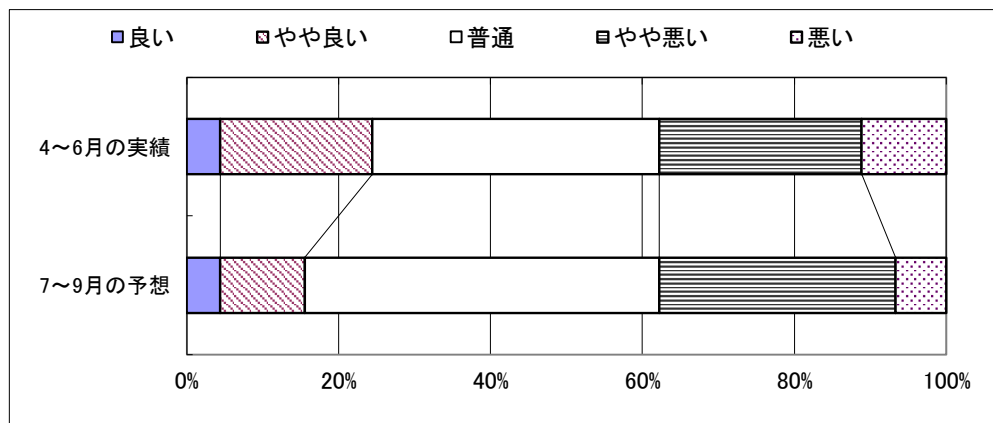
ロシアとウクライナの武力衝突も長期化の様相を呈し、価格上昇圧力と調達難が深刻化する中、短期的に経済環境が回復に向かうことは期待しづらい。企業倒産動向についても未だ不透明ながら、倒産増をもたらす不安要素は日を追うごとに増している。

(株)東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

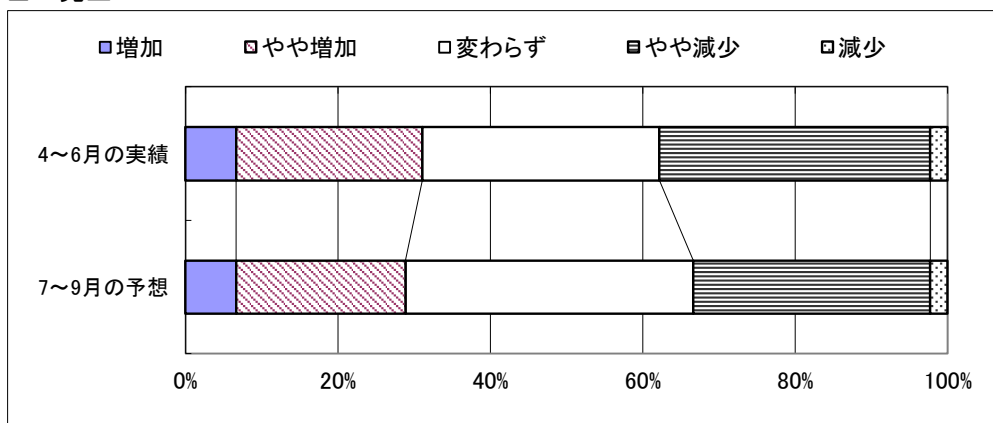
特集 第188回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客48先で、内訳は製造業19先、卸売業8先、小売業7先、サービス業4先、建設業6先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は6月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

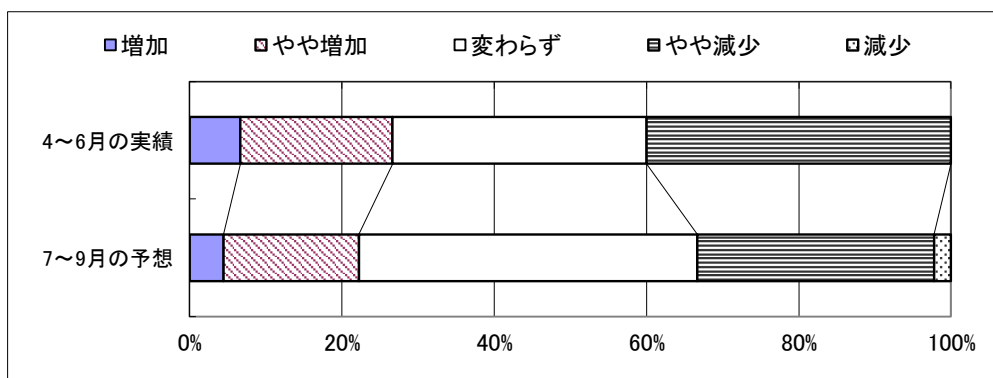
■ 業況



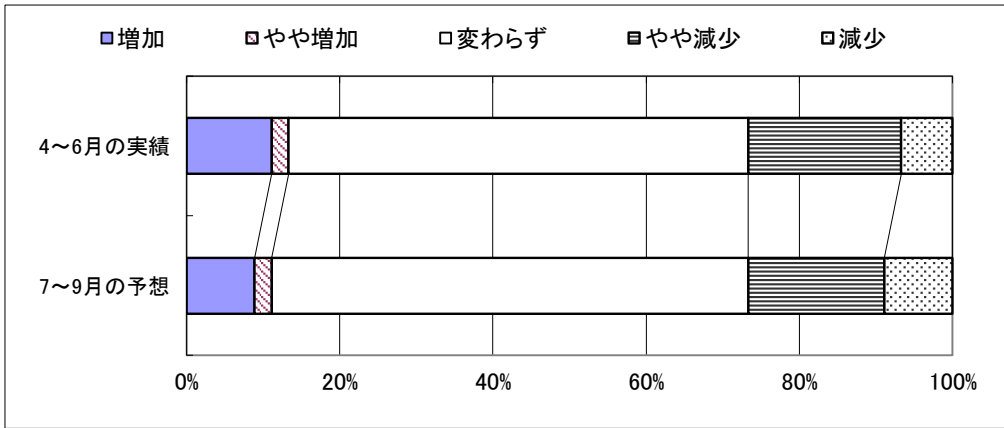
■ 売上



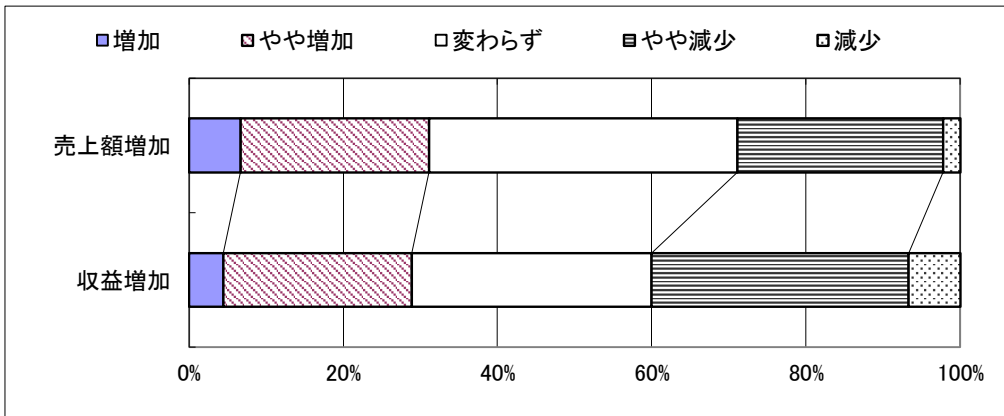
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



経営上の問題点 (業種別上位項目)

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 原材料高 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 人件費以外の経費の増加 ■ 売上の停滞・減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 取引先の減少 ■ 同業者間の競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 仕入先からの値上げ要請 ■ 利幅の縮小 ■ 人件費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人手不足 ■ 売上の停滞・減少 ■ 材料価格の上昇 ■ 人件費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 材料価格の上昇 ■ 人手不足 ■ 大手企業との競争の激化 ■ 同業者間の競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 商品物件の不足 ■ 利幅の縮小

当面の重点経営施策 (業種別上位項目)

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 情報力を強化する ■ 人材を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路を広げる ■ 経費を節減する ■ 新しい事業を始める ■ 情報力を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 品揃えを改善する ■ 経費を節減する ■ 仕入先を開拓・選別する ■ 売れ筋商品を取扱う 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材を確保する ■ 経費を節減する ■ 新しい事業を始める ■ 販路を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術力を高める ■ 情報力を強化する ■ 人材を確保する ■ 労働条件を改善する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費を節減する ■ 宣伝・広告を強化する ■ 情報力を強化する ■ 販路を広げる

銚子市
銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp



ちょうしんきん 相談会・セミナーのご案内



ちょうしんきんでは、(一社)千葉県中小企業診断士協会と連携した経営相談会や、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継に関する個別相談会を、営業エリア内の各地で開催しています。

また、法律や税務等に関する無料相談会を本店で毎月開催しています。いずれも、ご参加・ご相談は無料です。お気軽にご参加ください。

経営相談会

- ◆2022年6月15日(水) 開催場所:本店 ※終了
- ◆2022年8月17日(水) 開催場所:旭中央支店
- ◆2022年10月19日(水) 開催場所:東金支店
- ◆2022年12月14日(水) 開催場所:大原支店
- ◆2023年2月15日(水) 開催場所:神栖支店

事業承継に関する個別相談会

- ◆2022年7月20日(水) 開催場所:大原支店
- ◆2022年9月21日(水) 開催場所:神栖支店
- ◆2022年11月16日(水) 開催場所:本店
- ◆2023年1月18日(水) 開催場所:旭中央支店
- ◆2023年3月15日(水) 開催場所:東金支店